
大好きな
年上の旦那さまに
愛されています
2

人物紹介



支倉　鈴子
（はせくら　すずこ）

・征四郎が好き好き大好き
・征四郎とは幼い頃に出会う

支倉　征四郎
（はせくら　せいしろう）



・支倉家の婿養子
・軍人
・たまに方言が出てしまう



中村　弥二三
（なかむら　ひさふみ）

・征四郎の双子の兄
・大怪我で療養していたが
　回復した為、帰省している

中村　宗一郎
（なかむら　そういちろう）



・征四郎の兄
・小説家
・鈴子達の家の近くに住んでいる


今晩はライスカレーですか？
鈴子さん
ドキ
ふう…
初めての西洋料理…
征四郎様喜んでくれるかしら





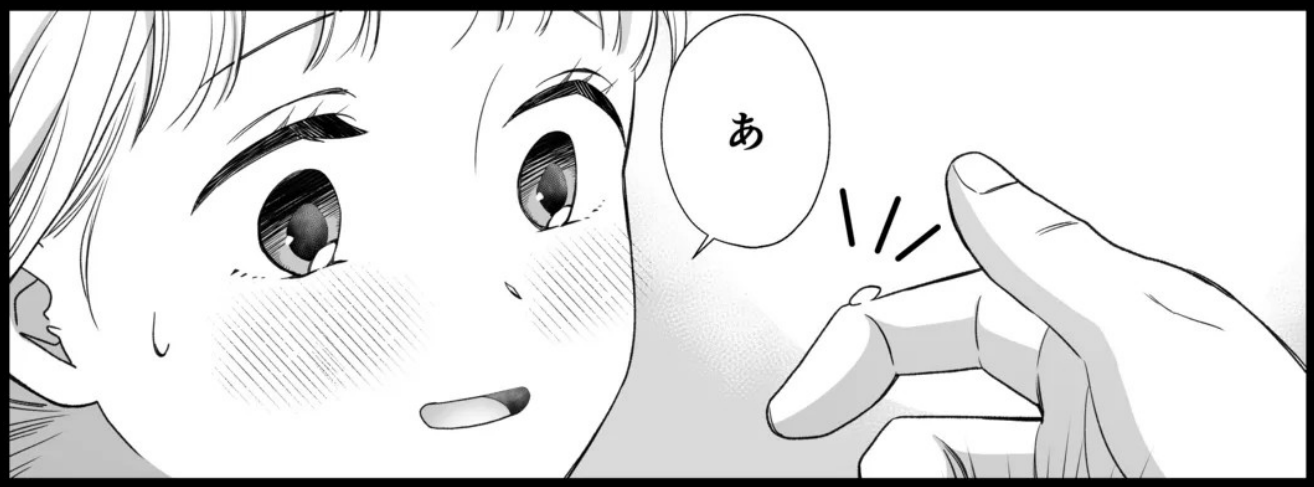
私支倉（はせくら）　鈴子（すずこ）と
彼、支倉　征四郎（せいしろう）様は
結婚した
ばかりの夫婦です。

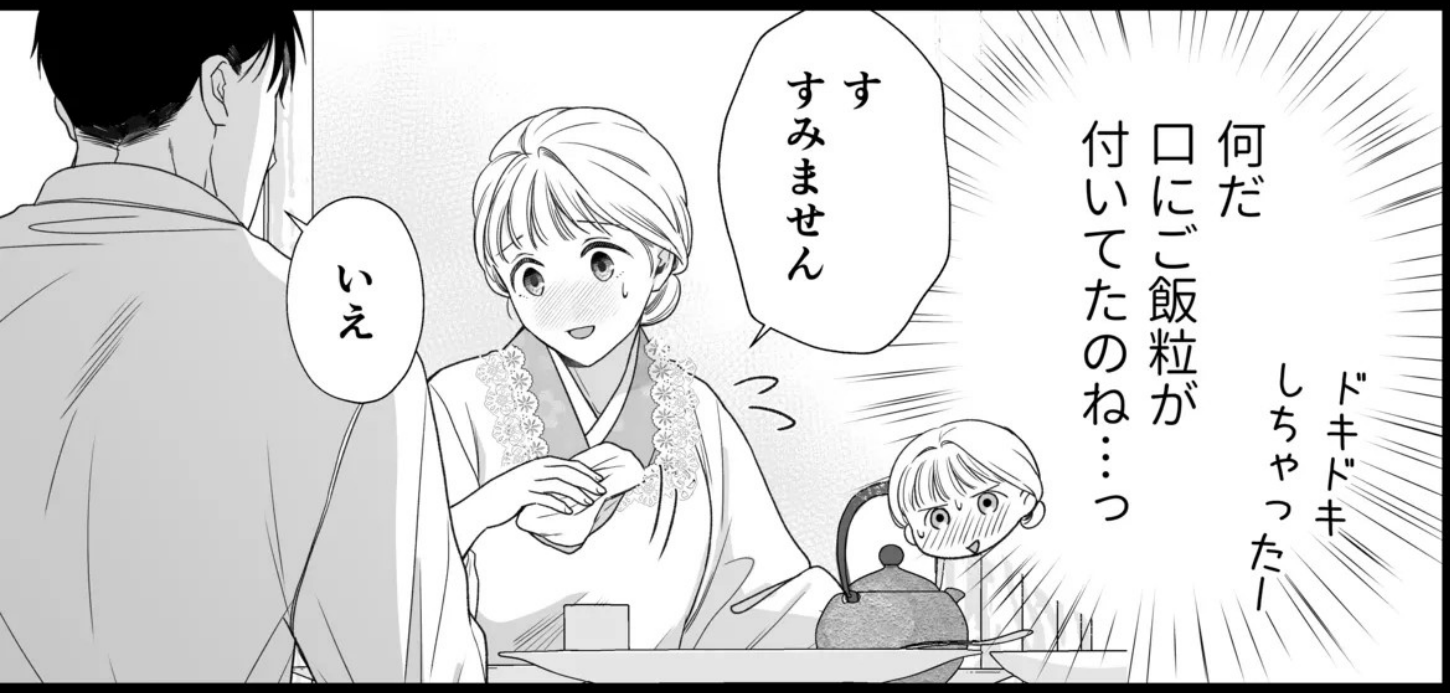

はじめは
家の人の関心を
奪われて
いじけていた私も
クスクス…
出会いは
10年ほど前
征四郎様は
私の家にきた
書生さんでした
いつしか
征四郎様に
憧れを
もつように…
ドキドキ
征四郎様
といると
お顔が熱く
なるのは
何故？
そして


結婚して
今に至ります
お口に
合うかな？
じー…
くすっ
美味しいですよ
とても
良かった…っ
征四郎様！
たくさん
召し上がって
下さいね…！
そうですわね～
おほほ
お替りも
ありますので！
ねっ
トキさん！
とぽぽ
パァア
えへへ
あ


鈴子さん…
何ですか？
征四郎様
なっ
何!?
せっ
何ですか!?
征四郎様!!
トキさんも一緒なのに


ここ
付いてますよ
！
ビクッ


あ


ドキドキ
しちゃったー
何だ
口にご飯粒が
付いてたのね…っ
すみません
すみません
いえ


大丈夫です
ぱくっ
あ


あらまぁ
あぁ…
？


征四郎様ったら
…っ！
おほほ
お熱いこと…
え…？
それは
食べちゃだめ…
そんな日常の中
おかえり
なさいませ

その知らせは
突然届きました

征四郎様
宗一郎様から
お手紙
届いてます！

…

今度は手紙
ですか…

ありがとう
ございます

お義兄さまは
本当に征四郎様の事が
お好きなんですね！

ははは…

征四郎様には
4人ごきょうだいが
いらっしゃいます

長男・宗一郎
次男
長女・美佐代
三男
四男・征四郎

お手紙
下さったのは
長男の宗一郎様です

お手紙を下さった
長男の宗一郎様は
小説家さんで

とても
楽しい方です

お家の近い
宗一郎様は

お仕事の合間を縫って
度々いらっしゃいます

鈴子ちゃん
また来るねー！

なんと
書いて
ありますか？

ニコ
ニコ

しょっちゅう家に
来るんだから

手紙なんか
寄こさなくて
いいのに…

宗一郎兄さんは
今、実家の方に
帰省しているようですね

……


征四郎様？
弥二三兄さんも
実家に戻って
いるようです
医師の許可が
下りたそうで…
まぁ！


三男の弥二三様は
事故で大怪我をして
長い事
遠い親戚のお宅で
療養していたのよね
征四郎様は
お仕事の都合が
付いた時は
お見舞いに行かれてた
それは
よかったですね
私はまだ
一度もお会い
した事がないけど


いつか
お会い出来る
いいなぁ
今度
私にも会わせて
下さいね
征四郎様の
ご兄弟は
私の家族でも
ありますから！
…
そうですね
機会が
合ったら
そのうち…
征四郎様？
ごめんくだ
さーい！


電報です
ありがとうございます
電報…
何かしら？
はッ
大変です！
征四郎様っ
お義父様が…っ
ガタン
ゴトン
ガタン


以前
お会いした時は
お元気そうだったのに
ガタンゴトン
信じられない…
ガタン
お義父様が
危篤だなんて
チラ…
きっと
征四郎様の方が
不安よね…
実の父親だもの
私も…


ずいぶん
幼い頃だけれど
お母様が
いつ亡くなっても
おかしくないって時は
とても
辛かった
でも
周りにはいつも
家の人がいてくれた
征四郎様


征四郎様の
そばには
鈴子が
いますからね

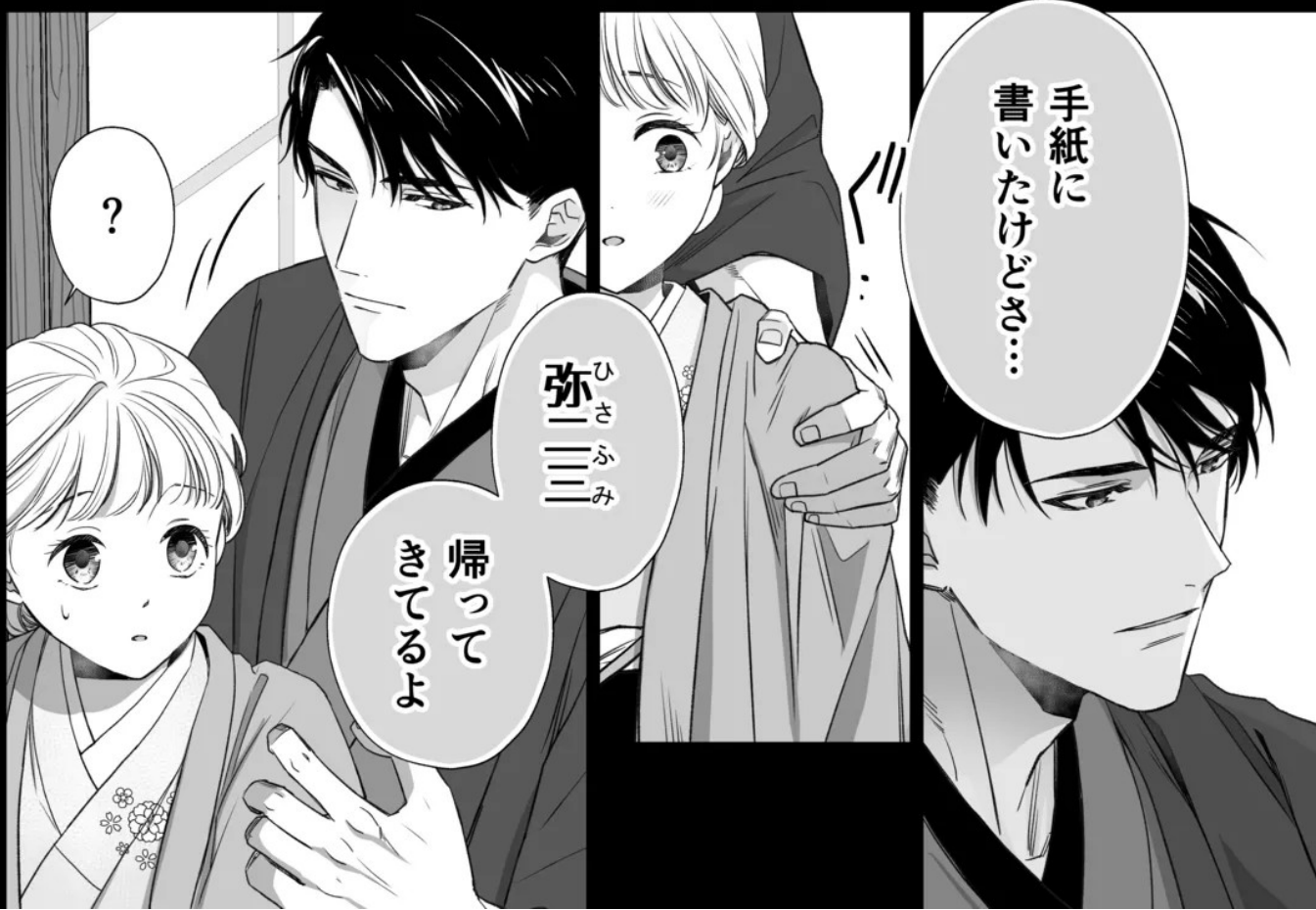

征四郎様は
私が
支えなくちゃ…


は？
父さんが危篤？
何それ
我が家の父上なら本家へ行ってるよー
えっ!?
…確かにこの家からの電報だったのですが…
宗一郎兄さん心当たりは？
さぁ？本家からウチに連絡は無いし…
何かの間違いじゃない？
電報が間違い……


こんな事もあるのね
ほっ
とにかくお義父様に何事も無くてよかった…
どういう間違いで届いたのか分からないけど…
お荷物預かっね
……
？
ありがとうございま…
キュルルル…
あっ
すすみません…
かーっ
おほほ
ほっとしたらお腹が…っ
こんなに遠くまで大変だったね
二人とも上がっていきなよ～
あはは
キッ…
しん…


立派な廊下
でも人の気配がなくて怖い…っ!!
パキッ…
静かですね…
ときんっ
いや〜よく分からないけど二人に会えて嬉しいなぁ
父さんが母さんと使用人を連れてったからね〜


みんなが帰って来るまでこのデカくて古い屋敷で留守番しなきゃいかんのよ!
スタ
キッ
スタ
キッ
今家にいるのは僕と使用人が数人…
あ、そうそう…


手紙に書いたけどさ…
弥三(ひさふみ)
帰ってきてるよ
？


ぎゃっ
!!
征四郎
ビキッ
お帰り
ニコッ
この方が
だいぶ顔色が良くなりましたね
弥二三兄さん

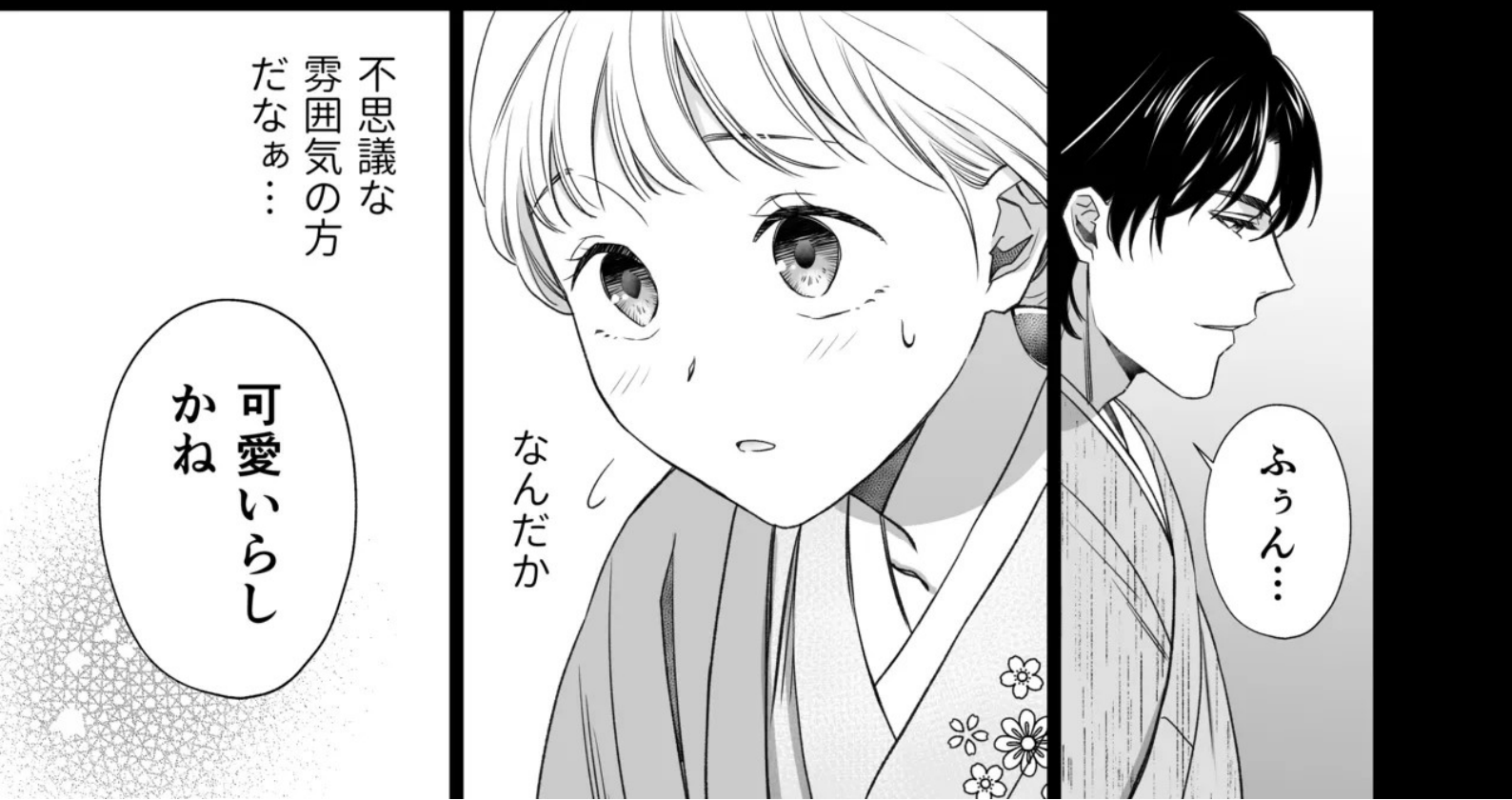

弥一三様…
あれ？
弥一三様って…
征四郎にそっくりだろう？
ひょこっ
どっきん
ひっ！
そ、宗一郎様
性格はぜんっぜん違うけどね！
あはは

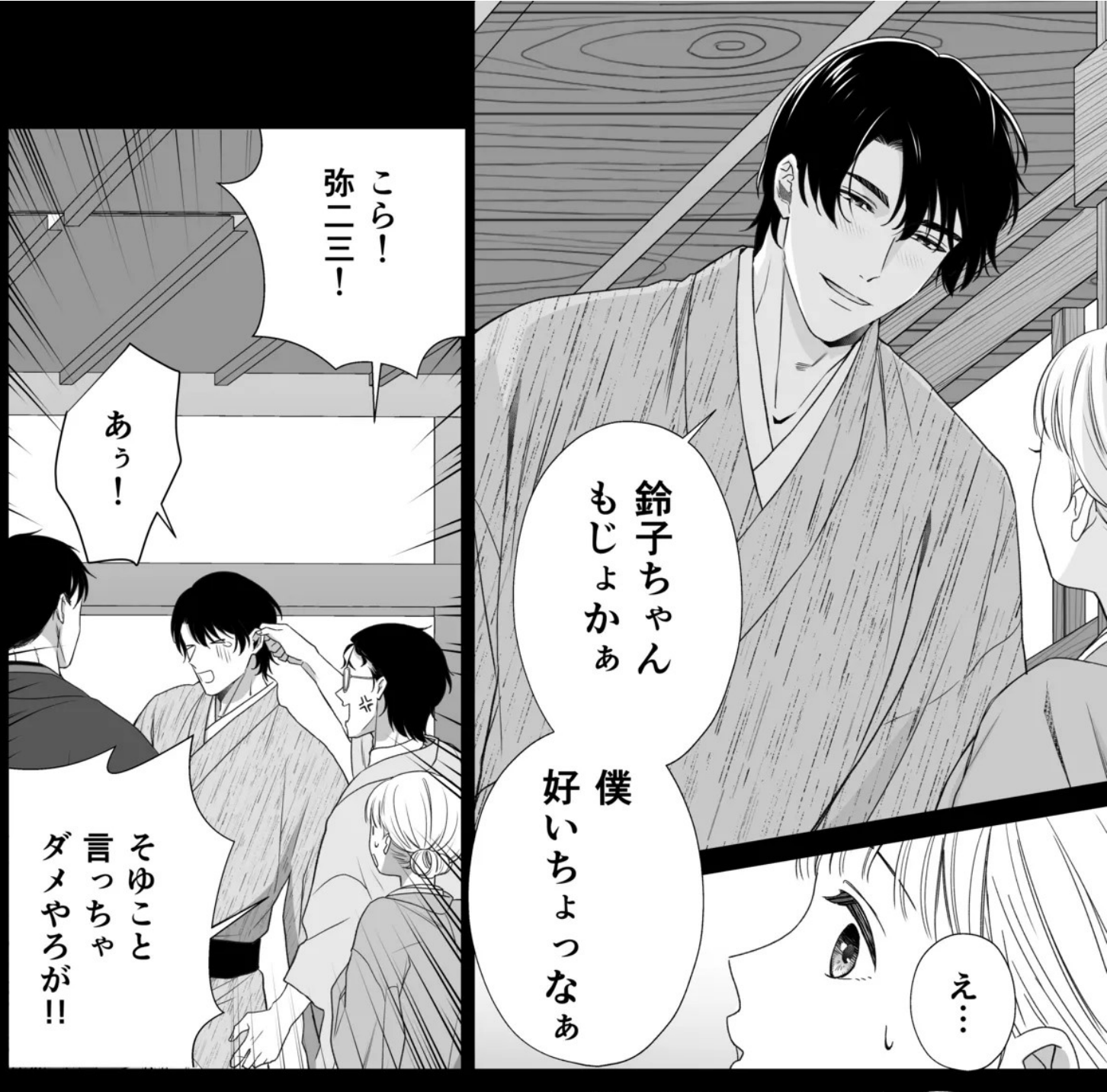

さすが
一卵性の双子
だよねー
えっ！
コンコン
ふ、双子
ですか？
コンコン
うん
双子だよー
聞いて
なかったかい？
ツキンッ…
…はい
……
ダメダメ
なに、ちょっと
傷ついてるのよ鈴子！
夫婦と言っても
元は他人様
知らない事が
あったって
おかしくないわ…
……
そうそう
でも
征四郎様…


もう少し
ご自分の事
私に話して
くれてもいい
のに…
ん？
ギッ…
あ
はっ
征四郎
もしかして
この子


スッ
弥二三兄さんは
会うのが
初めてでしたね


昨年
結婚させて頂いた
鈴子さんです
ご挨拶が遅れて
申し訳ございません
鈴子と
申します
ペコリ
あ…


ふぅん…
なんだか
不思議な
雰囲気の方
だなぁ…
可愛いらしかね


え…
鈴子ちゃん
もじょかぁ
僕
好いちょっなぁ
こら！
弥二三！
あぅ！
そゆこと
言っちゃ
ダメやろが!!


いーたーいー
ないでじゃー
もしかして
ちょっと
子供みたいな
方なのかも…？
なんでも
じゃー
この…いやらしい男めっ
宗一郎兄さん


俺たちは
夕刻前の列車で
帰ります
何事も
なかったよう
ですし…
うぅん…
まあ…
そうだな
せっかく来たんじゃで
えー！
まだ帰らん
でな～！
ピカッ
ドオオーン
おお
ひっ
ピヤッ
ドン
わぉ
ガシッ
ザァァ…
雷？
びっくり
したーっ
ほら
お天道様が
帰っちゃいけんって
言うちょっよ？
ふふっ
征四郎
……


こんな天気の中
じゃ帰るのは
一苦労だ…
僕もいるし
泊まって
いきなさい
では
お言葉に
甘えて…
征四郎様…？
あっ
お夕食の
お手伝い
します…！
いいよいいよ
たまには
ゆっくりなさい！
鈴子さん


あまり
俺のそばから
離れないで
下さいね
？
…この家は
広いですから
迷子になったや
大変じゃ～
ひょこっ
宗一郎
みたいに
ああ…
そんな事も
ありましたね
あん時ん宗一郎
面白かったな～
ふふふ
ははは
なんだい？
僕の悪口
かい？
仲良し…？


兄弟っていいなぁ
ザーザー
ザー
♪
♪
弥二三(ひさふみ)
スッ
わっ
何(ない)やっど驚(たまが)いたぁ
てとてと
宗一郎も便所け？
電報を打ったのはお前か？


何(ない)そい
僕は知らんよ～
くれぐれも
鈴子ちゃんに
手を出すなよ
すっ
えぇ？
次は
征四郎に
刺されたいのか？
トン…
身内で
揉め事なんて…
考えたくもない
勘弁
してくれよ！


小説家んくせに
いたらんやつじゃなぁ


では
お風呂場に
ご案内いたします
ね
ありがとう
ございます
何から何まで…
お夕食も
とても
美味し
かったです


にこっ
？
鈴子様は
征四郎様に
わっぜ愛されて
おらるっど
えっ


ご自分より
先にお風呂に
入っごつ
言われて
私がご案内
しますから
っ…！
しかも
ご自分で鈴子様を
お風呂に案内
しようと
なさるなんて…
ほほほ
お、
おほほ…？
ひゅ〜
征四郎
お熱いねぇ〜
あはははは
酔ってる
僕も鈴子ちゃんと
お風呂入って
こようかなぁ
ふふふふ


征四郎様
なんだか
心配そうだったな
私
そんなに
頼りないのかしら
じー…
今頃
楽しんでる
といいんだけど…
弥二三兄さん
…
鈴子様！
実はこん先に
ご兄弟が
小せ頃に
よう遊んじょった
場所があっど！
お風呂場に
行っ前に
少し見て
行かるっと？
はい！
ぜひ…っ！


飲み過ぎです
あと一杯だけじゃって
くっ
傷口が開(ひら)っじゃろ…
ひよいっ
やっと敬語やめたか
ガジガジ


何で
僕を式に
呼ばんやったんだ
兄さん
治療中やったど
じゃとしてん
声ぐれかけや
婚約した事だって
知らんやったし
僕だけ
のけ者にされた
ごたって
傷ちたんじゃでな
…兄さんには


感謝
しているんです
！
話
また敬語に
戻ってるし…
はぐらかし
やがって…
俺が失語症で
周囲に
馴染めなかった頃
兄さんの存在に
助けられました
まぁ、よか！
今度
征四郎の家
遊びに行ってでな！
カスティラでん
用意しとけ‼
感謝は
していますが…


兄さんを
家に上げるつもりは
ありません
亭主持ちの夫人
ばかりと
恋仲になり
挙句に
警察沙汰の事件を
起こした
そんな男を
歓迎すると
思いますか？
僕は悪うなか
むしろ
被害者やっど
人妻ばっかいと…
ていうたぁ
まぁ、そん通り
じゃけど
そしたや
征四郎ん家に
一生行けんのかぁ僕は…
そんた
嫌じゃなぁ
ガリ〜ン
では


ここで
誓って下さい
鈴子さんには
不義を犯さないと
もし…
何かあって
兄さんを
許せんくなっとが
嫌なんじゃ


そっか
そげん
大事なん
やなぁ
……


こん話は
こいで
お終いにしよう…
ふらっ
ぱレッ
へへ…


え…
何？
便所に行っ
だけじゃ
カミナアア
きゃあああっ
兄さん…！
なんやろ⁉
すげ
音したね
ザアア
雨ん音すっし
窓でも割れたん
じゃろうか
誰かが
怪我してる
かもしれない
様子を
見てきます
あっ


タタタ…
はぁ…
困ったなぁ
ガシャーン
い、いま何か物音がしませんでしたか…？
え そうけ？
ないも聞けもはんじゃしたば…
でも
いけん思うたより時間が経ってしもたはよお風呂場にご案内せんな…


こっちの方から
変な音が
しませんか…？
ゴオオ
サーサー…
ヒタヒタ…
ヒタヒタ
ほら…
ね？
オオ
嫌やわ、鈴子様
風ん音どぉ!!
ふらり…
ヒタッ


やっと見つけた
ちょっと
手を貸してぇ
向こうで
窓ガラスが
割れたん
はよはよ！
ひゃっ


申し訳あいもはん…
少しだけここで
待ちたもんせ
あ、はい
行って
下さいっ！
ぽっ
大丈夫かな…？
ぬっ


鈴子ちゃん
だぁ
ひ、
弥二三(ひさふみ)様っ!!


ヒック…
びっくり
しちょい？
面白ーい
ふら
ふら
お酒のにおい…
弥二三様…
そんなに
呑まれて
お体
大丈夫ですか？
弥二三さま
すごく酔ってる…


心配してくれっと？
…優しかね
ギュッ…
え？
ひ
弥二三様？
ゞゞ…
えっと
あの…
スル
ビクッ
離してくださ…
は
ゾゾッ
ぐすっ…


ほろ
ほろ
はっ
泣いてる?!
スンスンッ
オロオロ
ぼ、僕は…っ
グスッ
昔から…っ
ないやってん
続かじ中途半端で
父さんに嫌われ
ちょった
グスッ
泣き上戸…!
あうっ
あうっ
じゃっどん
征四郎が優しゅう
してくれた…っ
父さんに怒られて
真冬、納屋に
閉じ込められた時も
征四郎が
助けてくれた


じゃって
征四郎は
大事な弟
なんじゃ…
弥二三様…
弥二三様にとって
征四郎様は
とても大切な
存在なのね…


征四郎様に
とっても
きっと…
グズッ……
鈴子ちゃんにも
やっと
会えて嬉しか
はっ


わ、私も
弥二三様（ひさふみ）に
お会いできて
良かったです！
少しだけど
私の知らない
征四郎様を
知れた
気がするから…
もじょかぁ…


やっぱい
鈴子ちゃん
可愛らしかねぇ
!?
……っ！
ひ
ひさ…っ
こ
声が
出ない
はぁはぁ
カリッ


ついぐ
タルア
うぁっ…
せ
征四郎様…!!


うっ
あっ
ぐわっ
だめ…！


征四郎様…っ
はあ
だ
だめです…
ギュッ…


次は
ありませんよ
うん
あ
くっ…
はあ…


また
ね
鈴子ちゃん
あ
やば
腹が痛う
なってきた
ずる
ずる…
ヂッ…
パタン…
やっぱり
欲しいなぁ


カチッ
……
どうしよう…
何て声を
かければ
いいのかしら…？
さっきの弥二三様は
正気じゃなかった
だけよね
弥二三様
とても
酔っておられた
みたいで…
そ、そのせいで
あんな事を…
ピク…
あの状況で
どうして
弥二三兄さんに
会えて良かったなんて
言ったんです？
鈴子さんは
無防備すぎます！
ビクッ


……
ごめんなさい
はっ
違うんです…
俺が至らなかったんです
あなたは悪くない
征四郎様…
少し頭を冷やしてきます
…


え…
このままでは
醜態をさらして
しまいそうだ
ま
待って下さ
とさっ
あっ
鈴子さん…
大丈夫
ですか？
私は
征四郎様が
大好きです
かっこよくて
大人で頼りになって
優しくて…
でも…っ


でも
そうじゃない
征四郎様も
きっと
大好きなんです！


だから
もっと私に
色んな
征四郎様を
見せてください…
ゆっ


それは
困りますね
ええ!?
困るんですか!?
ボーン
な
何故です!?
鈴子さんの前では
格好つけて
いたいので


征四郎様ったら…
すっすき…♡
鈴子さん
……
じっ…
はい？
？


今日は
鈴子さんの方から
俺の口を
吸って下さい
ふに
え…っ

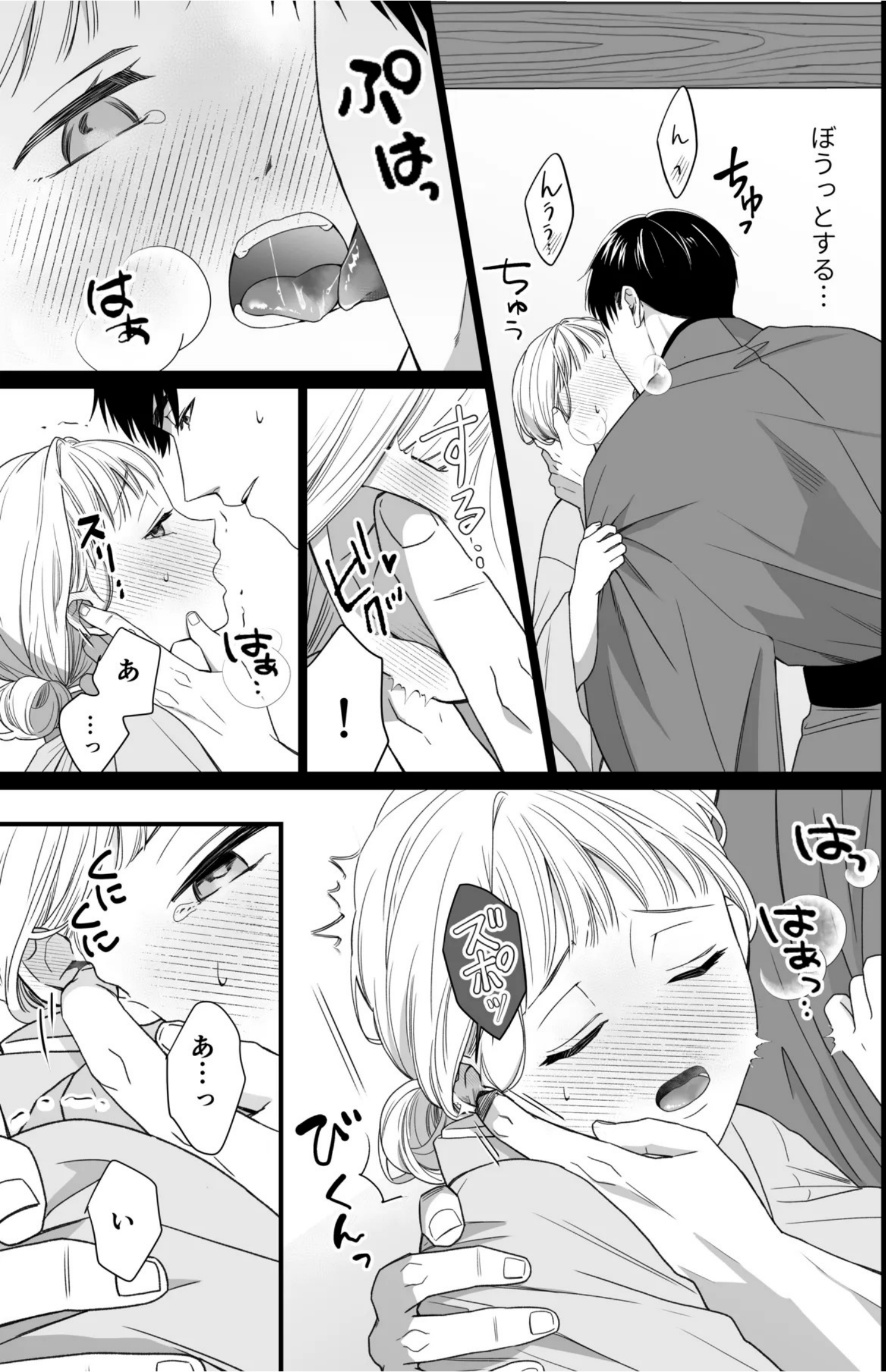

わがまま
聞いていただけませんか？
ドクン…
分かりました
征四郎様…
…
届かない
もう少しお顔を近くに…
カァァッ…
これでどうです？
ぐいっ


あっ
ぷるっ…
早く…
ビクッ


ちゅっ
はぁ
キキキキー！
くすっ
それだけ？
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

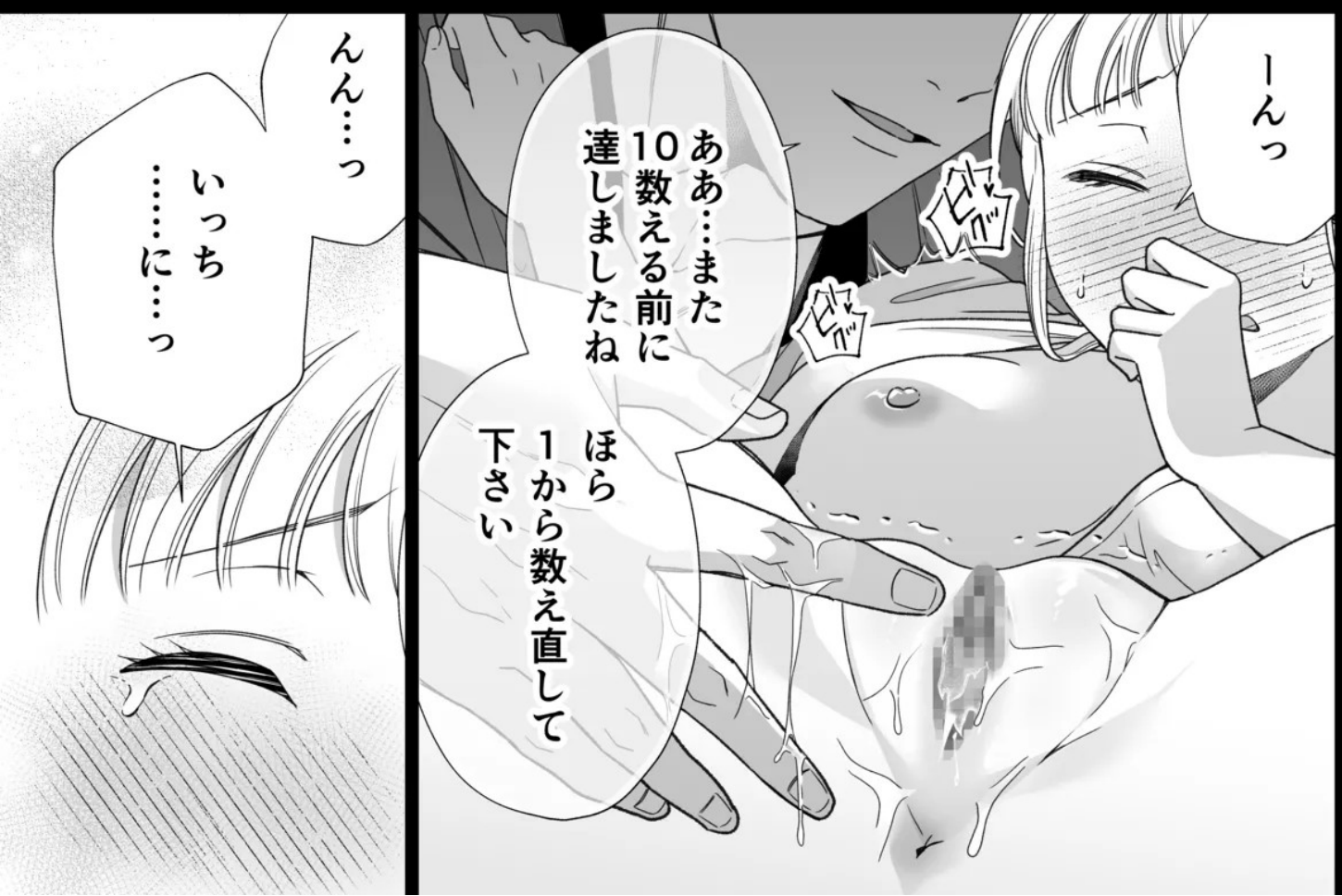

コココココ
きっっき
あはは
ははっ
っく…
~~っ
征四郎様!
意地が悪い
ですよ‼
ふっ…
すみません
はぁ…
鈴子さん
愛してます
はい…!


ちゅっ
ぢゅう
ん
んう…
んっ
じゅくっ
コクンッ
はぁ
頭が…


ぽはっ
はぁ
ぼうっとする…
ちゅっ
んっ
んうぅ
ちゅう
する…
ビクッ
！
スリ…
はぁ…
あ…っ
はっ
はぁっ…
ズボッ
びくんっ
くにくに
あ…っ
い


いけません!!
征四郎様!
ここは
征四郎様の
ご実家です…!
大丈夫ですよ
ぐぐ…
誰も
来ませんよ
こんな奥の部屋…
雨も
すごいですし
ここに
来る途中
先に休むとも
言って
あります
でも……っ
……
分かりました


では
鈴子さんが
ちゃんと
数をかぞえられたら
やめにします
ドクン
？？


ーんっ
ああ…また
10数える前に
達しましたね
ほら
1から数え直して
下さい
ビグッ
ビグッ
んん…っ
いっち
……に…っ


さっ
ビクッ
キュン♥
キュン♥
んぁっ
あ…っ
ビクッ


ヒク…
ヒク
キュ〜〜ン♥
キュ〜〜ン♥


メスイヌ〜♥
鈴子さん
かぞえないと
はッ
あっ
ビクッ
ビクッ
きゅうう♥


ひゃあっ
いつまでたっても
やめられませんよ
あ
はっ
はぁっ
びくんっ
びくっ
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
ユサッユサ
は…
あ
鈴子さんが早く数え終わらないから
もうこんなに…
ぬ
ちゃ
あ
ほら早く
はっ
はっ

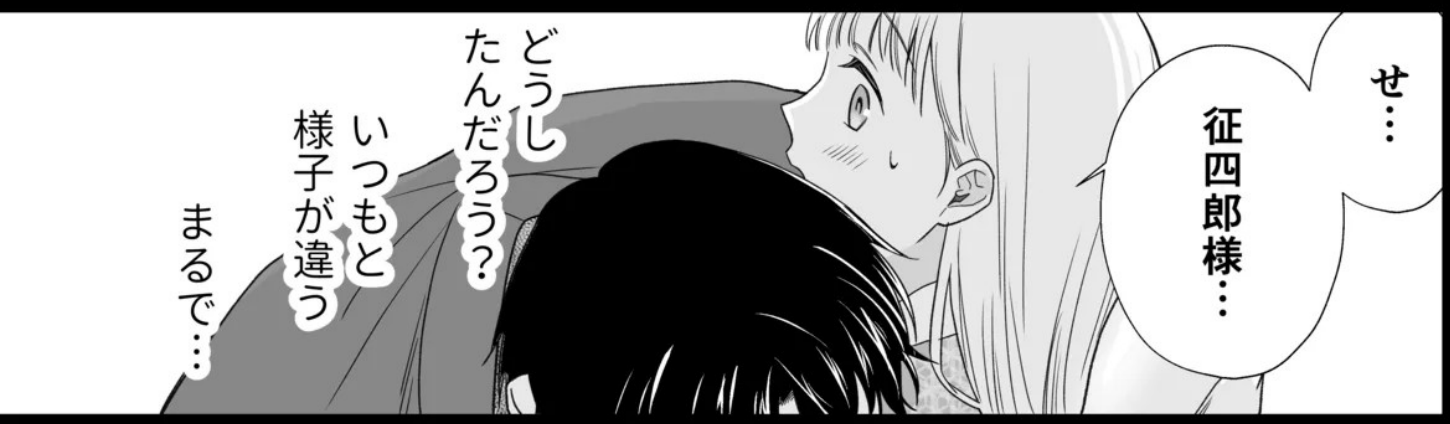

はっ
はぁ
はやく
早く終わらせないと…
よん…
ご
ろく…っ
な…っあ
はっ…なな
奥の部屋と言っても誰かに気づかれてしまうかもしれない…
ぷしゃ
あっう
ぷ
はぁ
はぁ
あっ♡
ビクッ
!!
ちゅぷんっ
あ、あっ
ちゅるる～…♡
ガク
ガク
ガク


はあ
はー…
トロー
ぶるぶる
ヒク
ヒク
征四郎さまっ
レロレロ
あっ…
レロ
あッ♥
やっ
せ…
しろさま
あっ
ちゅうっ♪
ちゅくちゅくふぅちゅくちゅ♥
や…あっ
はぁ
はっ
はぁ
ビクッ
ビクッ
も…
もお
あっ
は…
だっ
だめ…
はっ
ぢゅるるるる
つ!!


あッ♡
くたぁ…はー…
はー…
ヒク
ヒク
ヒクヒク♡
ふう
びくっ
あんっ
あ…
クスッ
ぞく…
わな
わな
せ…

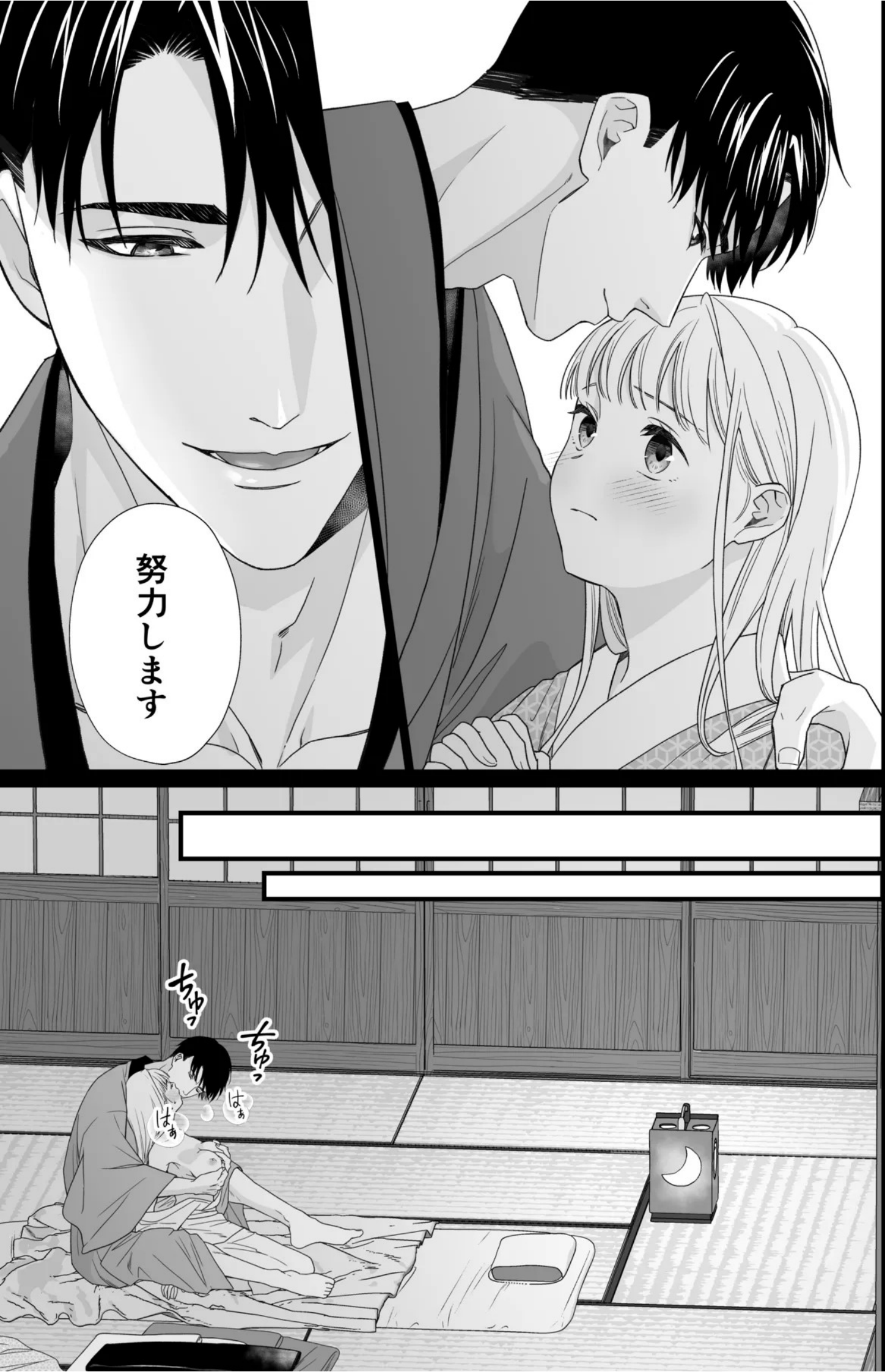

征四郎様
ひどいです…っ！
どうして
こんな事なさる
のですか！
「こんな
破廉恥
なこと
して」
はは
やめる気が
ないからですよ
ガーン


…
私も征四郎様と
続きをしたい…
でも
ご実家で
これ以上は…
い…家に
帰ってからでは
いけませんか？
嫌です
今がいい


せ…
征四郎様…
どうし
たんだろう？
いつもと
様子が違う
まるで…

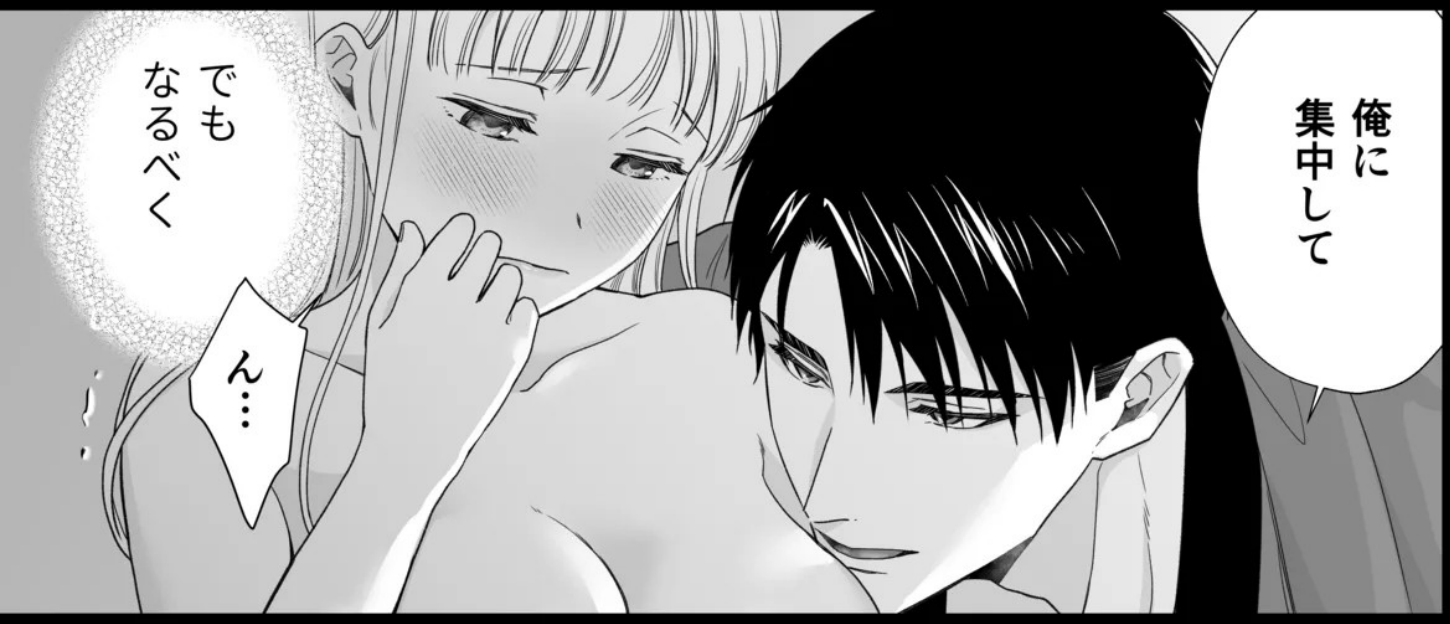

駄々をこねる
子どもみたい…
分かりました
今日は
諦めます
寝る準備
しましょうか
…っ

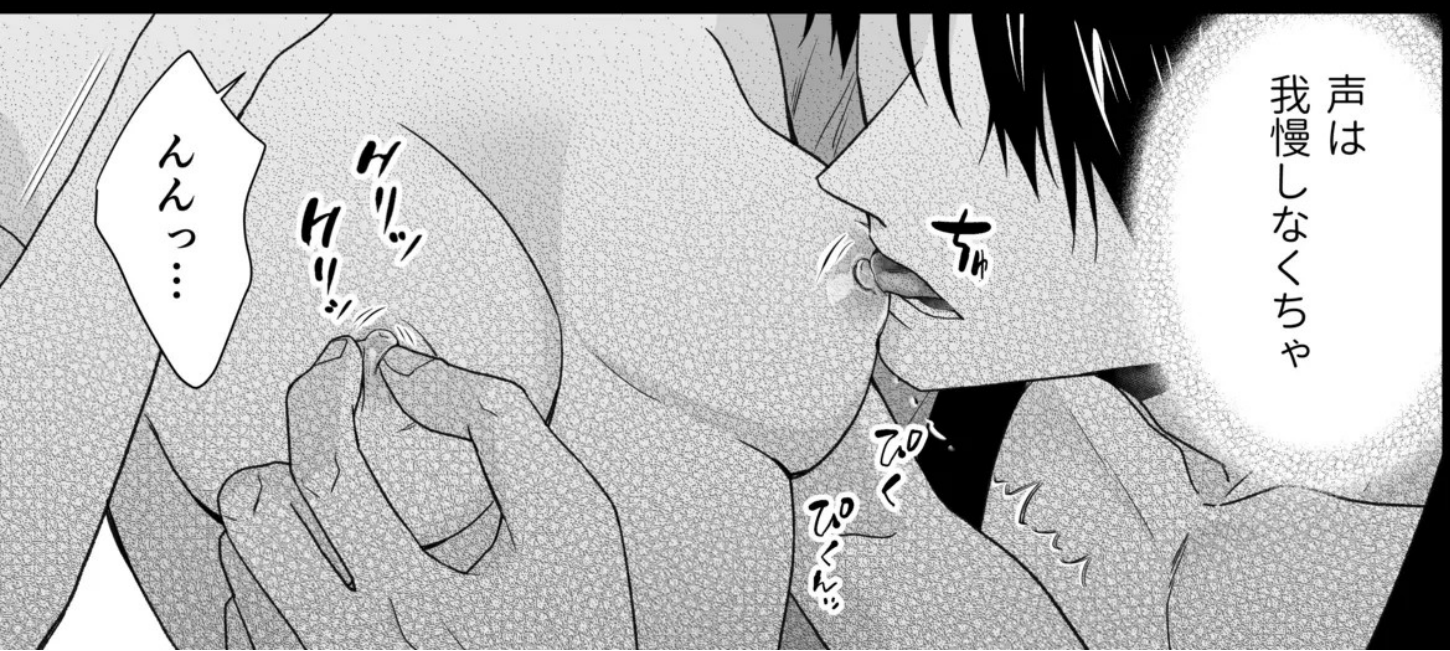

少しだけ…
こんな事をいうのは
少しだけ…なら
間違っているかもしれない
いけない事かもしれない
でも
征四郎様のわがままなら
聞いてあげたい
ちゅっ
！


努力します
ちゅっ
ちゅっ
はぁ
はぁ


あッ♡
はッ
はぁ
んッ♡
はッ♡
びく
びく
ん
ちゅる
はッ
ん
はぁ
ふっ♡
ふっ
むにゅ♡
むにゅ♡
くに♡
くに♡
んん♡
きゃっ♥
ひあっ
キュ
キュ
あっ
ギッ
ビクッ
じわ…


しん…
誰かがいるわけじゃないわよね
びっくりした…
ほっ
ただの家鳴りですよ
ひぁっ


俺に集中して
でもなるべく
ん…


声は我慢しなくちゃ
ちゅ
ぴく
ぴくん
んんっ…


はッ
れろ
ん
ぱっ
くちゃ
くちゃ
くちゃ
やっ
うん…っ
ビク
〜っ…
あっ
はぁっ
クリ
クリ
ぢゅ〜
さっきから
胸ばかり…
もどかしい
あっ
ヒクッ
はー…
ヒクッ
あ
はっ
ちゅ♡
ちゅ
はー…
あ
する…
ゼロ〜ン
ゆら…
はッ
あッ♡
ズクン


鈴子さん
ふっ
ちゅ
ちゅ
ふっ
んうう…
ぴくっ
ちゅ
ちゅ
あ
ちゅ
ヒクッ
ヒクッ
ちゅ
ギッ
ちゅっ…


ぐっ…
!!
ヒトミ
ソノクッツ
はッ
ガクガク
あ…♡
ゃぁ～♡


あ…っ
せっ
いしろう
さま
はッ
はッ
はぁっ
はーっ
一緒に
しちゃ…
あっ
あっ
んっ
うっ
声
抑えられない…っ
あっ
や
あ〜
あっ


ぢゅるるる～♡
あっ
んっ
くちゅ
ちゅ
ふあっ
ぶるるっ
ぶるるっ
ひぐっ
ひぐっ
ひぐ


つぷ…
びくびく
!!
ぱちんっ
ゆ…
指が入ってる
2本くらい…


ひくっ
ひくっ
ふぅ～…
ふぅ～…
ふぅ～…
ちゅぅ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
あ…っ
あ
あぁ
ビクッ
ビクッ
くちょ
くちょ
くちょ
くちょっ
んん♡
ん～～♡♡♡


あ…っ
ビクッ
ちゅ…
ぐちゅぐちゅ
ちゅぱ
ビクンッ
ビクビクッ
ぎゅうっ
だるっ
だるっ
くぅ…っ♡


はー…
はー…
はー…♡
あっあっ♡
ゴクッ
ちゅ♡
！
はー…
いれますね
はー…


んっ
ふっ…
ぬちっ
ヒク
ヒク


くちゅ
ぬるっ
にちゃ
ぬちゃ


はっ
はあ…


ん
んっ
ちゅぷっ
くちゅっ♡
キティ
はぁ
はぁ
はっ
はぁ
征四郎様の…
熱い
はぁ
はぁ…
征四郎様…
もう
動いて大丈夫
ですから
…っ
では
遠慮なくッ
あッ♡
ぷるん
びく
びく


んっんッ
ビクビク
ゾクゾク
いきなり…
深くにっ
ゾクッ
んっ
ふっう
ハチュッ
声…
抑えなくても
いいんですよ
パン
パン
パン
んっ
はッ…
うッ

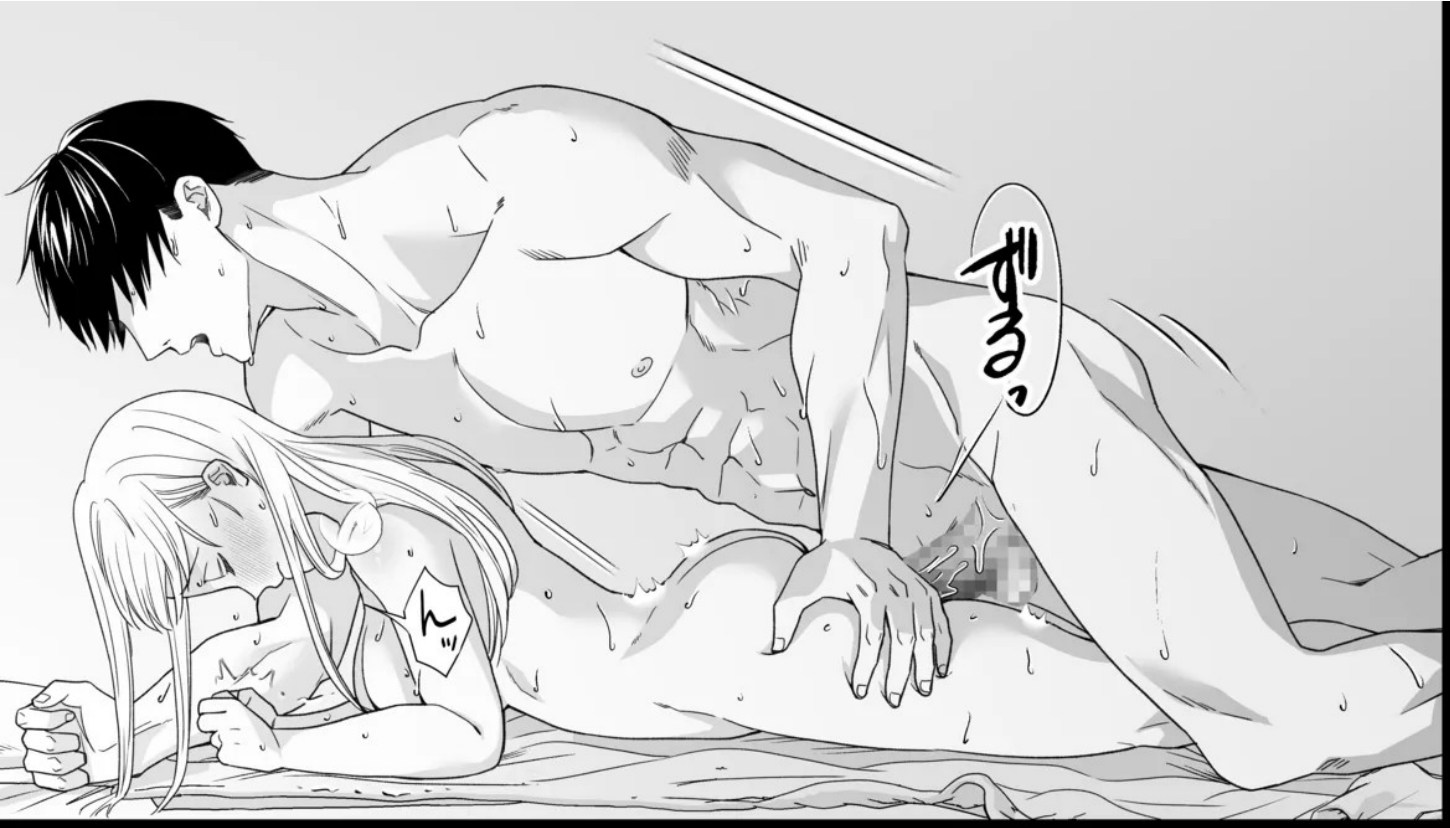

はっ
でも…っ
プルン
ビクッ♥
ビクッ♥
ジュプ
ジュプ
ジュプ
ん
誰か
あッ
来たら
ぬぷぅ…
シミ
ん…っ♡
いいんです
聞かせてやれば…
グッ…
は…!
は…!
くぅっ♡
ゾクゾクッ


れろっ
ふっ…
んん♡
ちゅぷ
ぬちゅっ
ちゃる
挿入られながら
口吸われると…
ビクッ
はぁ
ビクッ
はっ
んちゅ…
ぴちゃ
ちゅっ
ふぅん
はァ
んん♡
ぴちゃ
はぁ
余計に
ひぁっ
るるるろう〜


気持ち良く
なっちゃう…
ばちゅ
ばちゅ
ばちゅんっ
ばちゅんっ
ぐちゅぐちゅ
おっ
んっ
くちゅ
ぴくっ
ぴくっ
ちゅぱ♥
はぁ
はぁ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ビクッ
あっ
だめっ
イっ
ビクッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あっ
んっ
んんっ
早くて
激しくて


何回も
気持ちい所
こすられてる…ッ
あっ
バチュッ
あん
あ
バチュッ
はっ
はぁ
ぐ
ぴくっ
ぴくっ
征四郎様
あっ
バチュッ
あッ
もう…っ
いいですよ
いつでも
達してください
ぐちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅ
ぐりゅ
ちゅ
ハッ
ハッ
う♡
あッ♡
あっ♡


ズブ
ズブ
ズブ


ずるっ
んッ


…
ほ…


ビュッ
ビュッビュッ
！
ビッグ


良かった
外に出して
もらえて…
他人様のおうちで
妊娠
してしまったら…
なんだか
申し訳ないもの
ここまで
致しておいて
なんだけど…
ぐ…
!?


ずぷ～
あっ
えっ？
あぁ…♡
あ
せ
せいしろう
さま？
もう
終わりなんじゃ…っ
おっ
おっ
フッ
フッ
せクッ
せクッ
はッ
パン
パン
パン
パン
あ
あ


パン
パンッ
あっ
いっ…♡
はッ
すみません
鈴子さん
あ～ッ♡
はぁ
ぐちゃ
やぁ
また…ッ
あ
はぁ
ガクガクッ


ユサ
ユサ
…先程
はッ
頭を冷やしておくべきでした
はッ
どうしても腹の虫がおさまらない
はぁ
はぁ
はぁ
ぱちゅ
あ
ぱちゅ
まだ動いちゃあ
ぱちゅ
出ううう


もう誰にも触らせないで下さい
ぱんっ
ぱんっ
あぁ…
あ…
あ…
しろ…
ガクガク


鈴子さんに触れていいのは俺だけですから
は！…
は！…
ぽ…
あ
他の男に触らせてはいけません
ギュッ…
いいですね
…征四郎様


心配…
かけて
ごめんなさい
鈴子さん…
愛してますよ
憎らしいくらい…


はッ
はッ
ゆさ
ゆさ
ぐちゅっ
ぐちゅんっ
あっ
あ
ビクッ
はぁ
はぁ
ビクッ
あ
ぬぷっ
あっ
ぬぷっ
あっ
あっ
ビリビリッ
ゴリッ
チュッ
あんっ♥


ぐちゅっ
ごりっ
あぁん
ズン


はー！
鈴子さん


子宮が
降りてきてる
ちゅ
はー…
はぁ…
はぁ…
え…？

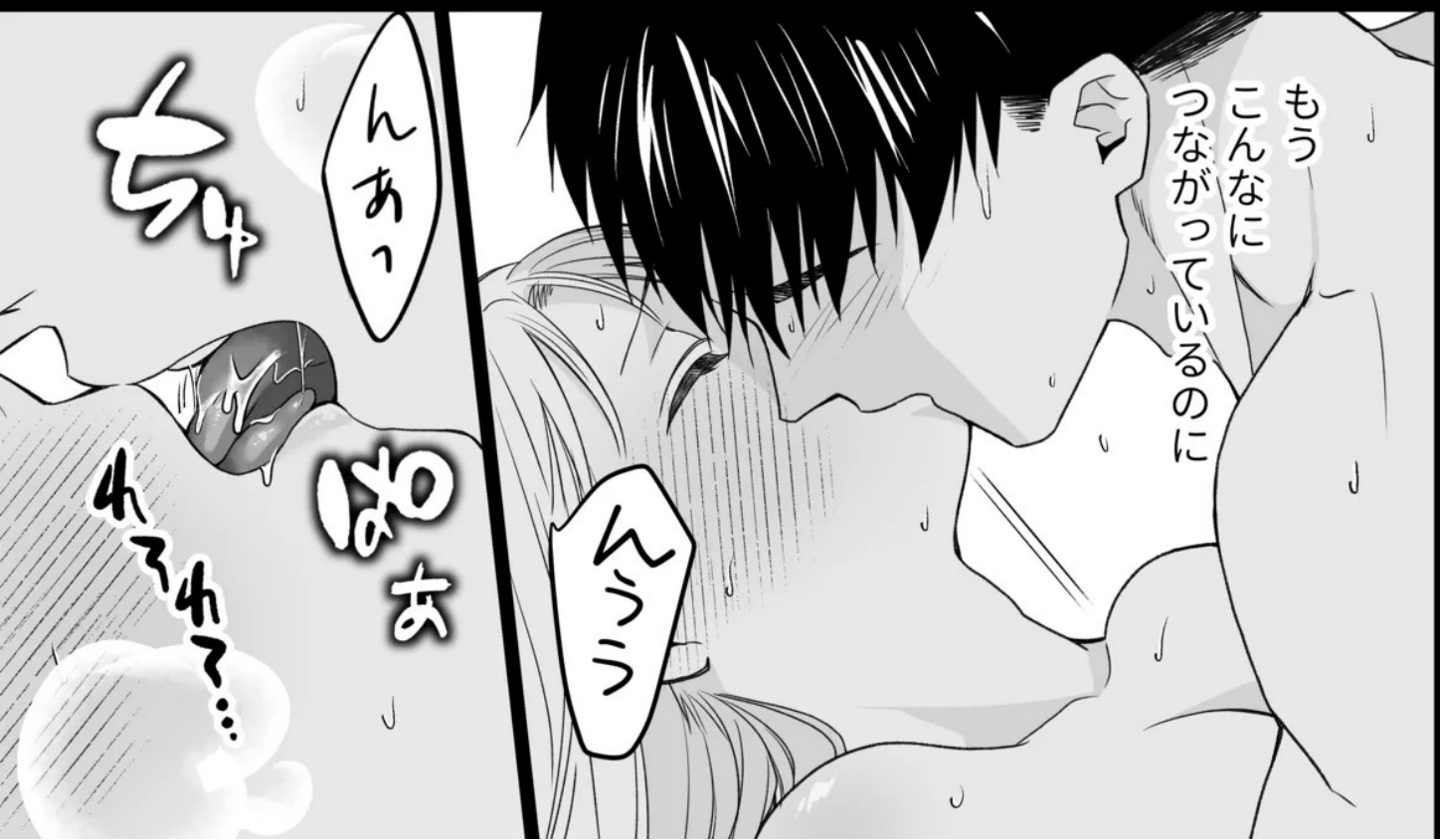

ここ
はッ
もっと
はッ
はッ


突き上げますね
ビクン
ずるぇ〜
ガク
ガクッ
あ
あ
ばちゅっ
あぁあっ
ばちゅっ
あッ♡
やッ♡
やぁ♡
何これ何これ？
だめぇ♡
ばちゅっ
ばちゅんっ
ばちゅっ


はっ
は、
あっ
あすん…
腰を
打ちつけられる
度に
お腹の奥が
揺れて
あ
きもちいい
パン
パン
パン
パン
征四郎様っ
だめ
はァ
ダメっっ
はァ
せクッ
せクッ
征四郎さまっ
あっ
あーー
ガクッ
ガクッ
ぬぽんっ
あっ


ぱんぱん
…フ
はっ…
ビキニパンツ
はーー…
私
ほんとうに
おかしくなって
しまった
のかもしれない
征四郎様…


旦那様の
実家で
こんな事しては
いけないのに


もう
こんなに
つながっているのに
んうう
んあっ
ちゅ
ぱぁ
んてんて…


…っ
鈴子さん
はー
はー
はー；
ビキキィ…
びくっ
もっとって
思ってしまう
征四郎様


きてください
いつまでも
一緒にいたい
くぱぁ…
もっと
は…
もっと私を…


征四郎様で
ぐぐぐぐぐ
ふっ
ふ…
いっぱいにして欲しい…
はっ
あっ…
みち…
はぁ♡


はっ
はぁ
はぁ
鈴子さん
次は
中に出します
いいですね


はい
嬉しい


ずるっ
あぁ
ぐちゅ
あっ
ビク
あぁっ
ぐちゅ
ぐちゅ
征四郎様
また
きちゃう…っ
ビク


いいですよ
いくらでも
達してください
はっ
ちゅっ
はあ
ちゅぷっ
はあ
ゴリュ
あっ
あん
ゴリュッ
ずずちゅちゅ


もっと
はっ
はっ
はっ
あ
あぁ〜♡


ビュ
ッ
はっ
ビュッ
くーッ
プル
ぬーるるるるーー
んっあっ
あっ
プル
ばちゅっ
あん♡


ビクッ
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
あっ
ぐちゅっぐちゅっ
ビクッ
あ
あっ
はっ
あ
あ
あぁ♡
好き
好き
しゅぴ
しゅぴ
しゅぴ
しゅぴ
しゅぴ
あっ
しゅぴ
しゅぴ
しゅぴ
しゅぴ


大好き
はちゅんっ
あっ♡
ビクンビクン
キュウ〜♡
キュウ〜ン


びゅ！
びゅるる
んぐっ♡
ビク
ビク
ヒクッ
ヒクッ
はぁ
はぁ
はぁ
スロホ。

翌日

ご実家を出る時
弥二三様とは
お会いする事はなく

鈴子ちゃん

征四郎からきいたよ
昨夜は弥二三が…

本当に
申し訳ない

あ

宗一郎様…！

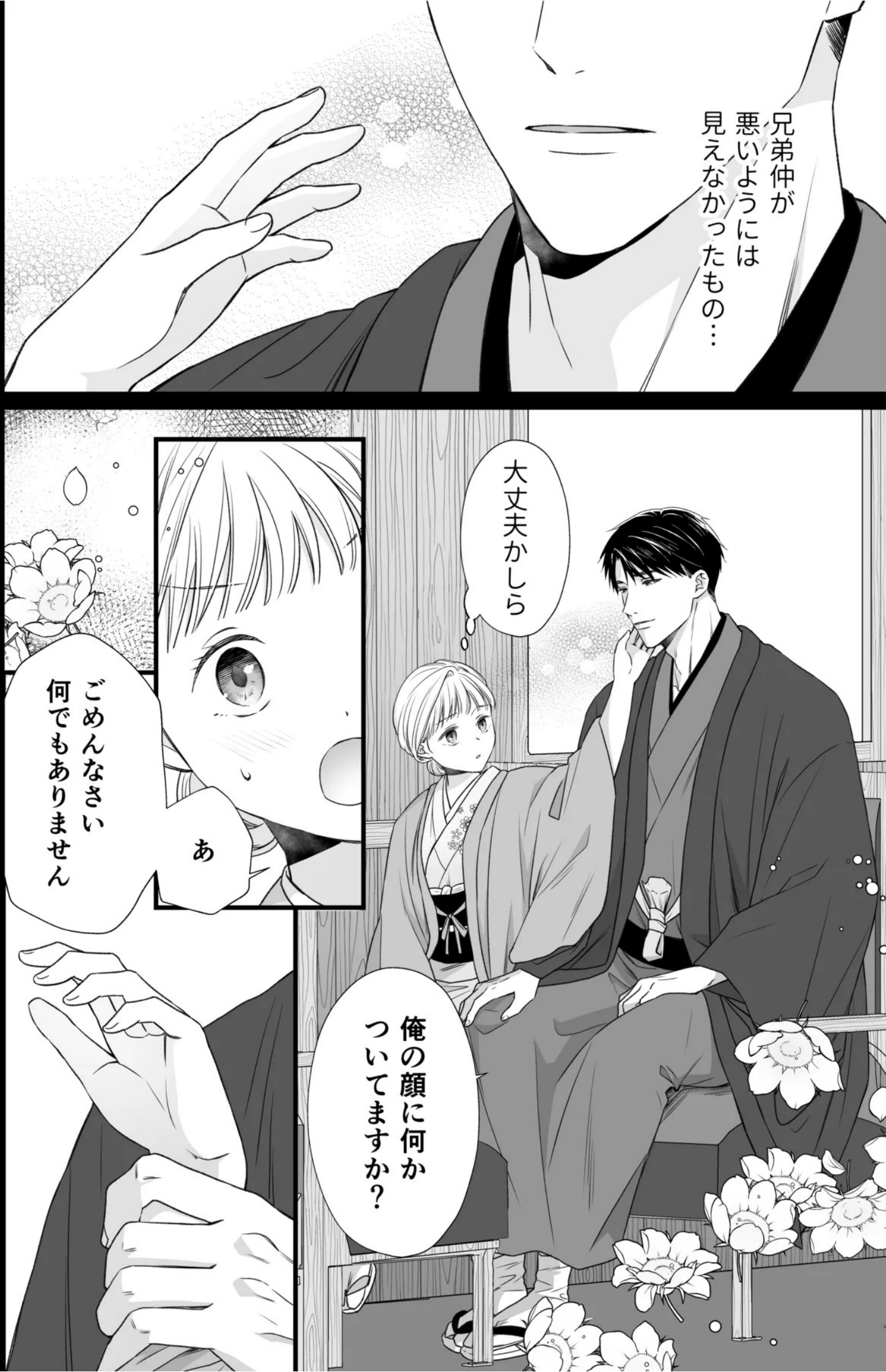
私は気にして
いませんので…

真っ先に
眠ってしまった
僕を許しておくれ…

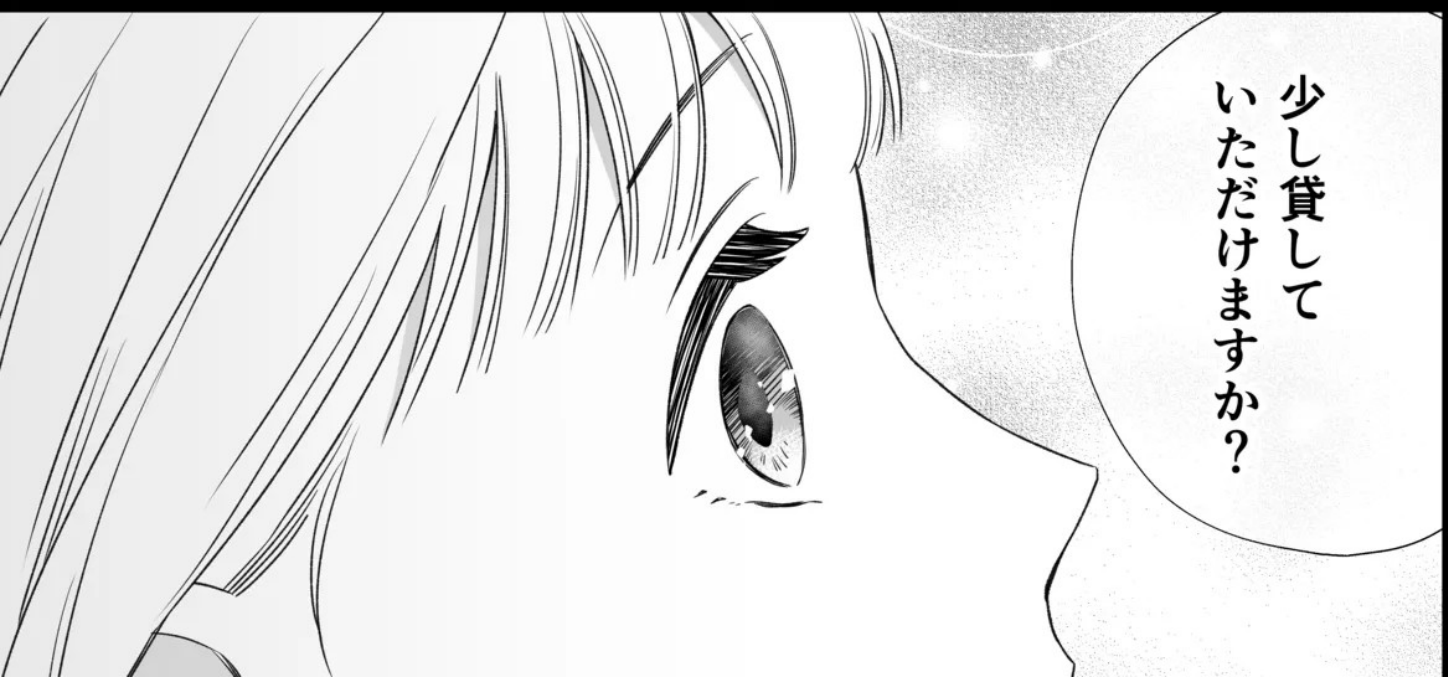
酔っぱらってのことですし！

帰り道
征四郎様から
弥二三様のことをきいた


弥二三様は
数々のご婦人と
不倫を繰り返していて
私たちの結納の
少し前にお相手から
心中を持ちかけられ
お腹を刺されたらしい
どうして
そんな
ことを…？
さぁ…
さっぱり
分かりません
今回のことも
ありますし
これからは
弥二三兄さんの事は
信用できないと
思って下さい
俺も
気を付けます
征四郎様…
本当は
こんな事いいたくない
はずよね…


兄弟仲が
悪いようには
見えなかったもの…
大丈夫かしら
俺の顔に何か
ついてますか？
あ
ごめんなさい
何でもありません


そのまま


少し貸して
いただけますか？



ふっ…
すぐ赤くなる所も
好きですよ

もうっ
征四郎様ったら！
揶揄わないで
下さい～!!

楽しい日も
そうじゃない日も
これからも
一緒ですよ征四郎様


お
わ
り

『大好きな年上の旦那さまに愛されています2』をお読みいただきありがとうございます(^^)

続編の発売までかなり時間が経ってしまい…
待って下さっている方がいらっしゃったら、本当にすみません(泣)
楽しんでいただけましたら幸いです

今回は続編という事で、新しいキャラを登場させてみました
やっぱりメイン2人の関係を
揺さぶってくれるキャラは貴重だなぁと思います
(弥二三君、ありがとう！)

「男キャラが嫉妬する展開」って良いよねぇ…でもなぁ
征四郎君はそんじゃそこらの男じゃ嫉妬しないだろうし…
鈴子ちゃんは征四郎君以外はアウトオブ眼中だし…
うーん…どうしよう……うーん
と色々悩んだ結果、弥二三君が誕生しました
弥二三…とんでもない野郎です(笑)
嫉妬展開とは違うかも…(汗)だったのですが
鈴子と征四郎の仲が深まる所を描けて楽しかったです！
やっぱり、甘々展開好きです一
幸せな気持ちになりますよね！甘々は！

次は何を描くのか未定なのですが(汗)
今年中に発売したいと考えております
またお会いできたら嬉しいです!(^^)!

レビューやコメント
ありがとうございます
とても嬉しいです！
･:*+.((° ω°)).:+
励みに頑張り
ます！！

2024/6末
ももみつ堂

